

## 平成21年度 政策評価書（事後の事業評価）

担当部局：経理装備局艦船武器課  
実施時期：平成21年11月～平成22年3月

**事業名**：NBC偵察車

**政策体系**：4-1 研究・開発

**事業内容**：化学防護車及び生物偵察車の後継として化学防護隊（小隊）等に装備し、広域にわたる有毒化学剤、生物剤及び放射能汚染地域の状況を迅速に偵察（検知、識別等）し、じ後の部隊運用等に必要な情報を収集するために運用されるNBC偵察車を開発する。

（NBC: Nuclear, Biological, and Chemical 核・生物及び化学）

**経費総額**：約39億円

## ○評価の内容

### 1 事業の目的

核・生物・化学（NBC）武器に対しては、その被害を局限し作戦・戦闘全般への影響を最小限にする必要があり、そのためには早期に汚染地域等の状況を解明し、適切な防護等の処置を講ずる必要がある。

このことから、広域にわたる有毒化学剤、生物剤及び放射能汚染地域の状況を迅速に偵察し、じ後の部隊運用等に必要な情報を収集するためのNBC偵察車を開発することを目的とする。

### 2 達成状況

#### (1) 達成効果

以下の技術的課題を達成したことにより、広域にわたる有毒化学剤、生物剤及び放射能汚染地域の状況を迅速に偵察できるNBC偵察車を開発することができた。

#### ア 多種センサシステム化

NBC各種センサから得られた検知・識別・測定情報を迅速に処理し、総合化するNBCセンサシステムを実現し、各種センサを集約・制御できることを確認した。

これにより、NBC偵察機能及び指揮通信機能の一車搭載を実現し、取得した情報を迅速に処理・伝達して効率的に偵察することが可能となった。

#### イ システムレイアウトの最適化

車内の動線を確保しつつ、乗員が複数の器材を定位で操作する際の操用性を確保したシステムレイアウトを実現し、良好な操用性を有していることを確認した。

#### ウ NBC防護性能の向上

産業毒性物質にも対応可能な空気浄化性能を有するNBCフィルタを実現し、その有効性を確認した。

#### エ 耐振動・耐衝撃性能の向上

2次ばねを組み合わせたばね懸架及び各センサの防振架台により耐振動・耐衝撃機構を実現し、各種試験において振動・衝撃値が緩衝されていることを確認した。

#### オ ライフサイクルコストの抑制

ライフサイクルコスト抑制のための諸活動、性能とコストとのトレードオフ、民生品の活用、製造工程の見直し並びに将来装輪戦闘車両の研究との部品及び構造の共通化等を実施した。

#### (2) 達成時期

平成17年度から試作に着手し、当初の計画どおり平成21年度までに技術試験及び実用試験を終了し、開発を完了した。

#### (3) 教訓等事項

システム・インテグレーション（注）によりNBC偵察機能の一車搭載を実現し、技術基盤の育成に大きく寄与したものと考ええる。

ライフサイクルコストの一層の抑制のために、今後とも将来の装輪戦闘車両のファミリー化構想について検討を進めていく必要がある。

(注) システム・インテグレーション：個々のサブシステムを組み合わせて、ひとつのシステムを作り上げ、最適化を図ること。

#### ○今後の対応

今後、化学科部隊等への整備を進める予定である。

#### ○その他の参考情報

別紙1 N B C 偵察車の運用構想

別紙2 N B C 偵察車の概要